

農地法第3条の規定による許可申請書

平成 〇〇 年 〇 月 〇 日

新潟県知事 様
阿賀町農業委員会 様

<譲受人>

住所 阿賀町・・・〇〇番地

氏名 〇〇 〇〇

(名称及び代表者氏名)

<譲渡人>

住所 阿賀町・・・××番地

氏名 ×× ××

(名称及び代表者氏名)

下記農地(採草放牧地)について 所有権 を 移転 したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。

記

1 申請者の氏名等

申請者	氏名(名称)	年齢	職業	住所
譲受人	〇〇 〇〇	60	農業	阿賀町・・・〇〇番地
譲渡人	×× ××	55	会社員	阿賀町・・・××番地

2 許可を受けようとする土地の所在等(土地の登記事項証明書を添付してください。)

所在・地番		地目		面積 (㎡)	都府県及び 農林業振興地 域の整備に関 する法律によ る地域	所有者の氏名又は名称		所有権以外の使用収益権 が設定されている場合		対価、賃料等の額(円)		
大字	字	地番	登記簿			現況	現所有者が 登記簿と異 なる場合	権利の 種類	権利者の氏 名又は名称		10a当たり	
〇〇	〇〇	〇〇	田	田	3,000		×× ××	本人			〇〇	〇
地目別面積計		田 1 筆 3,000 ㎡		畑 筆	㎡	計 1 筆 3,000 ㎡	採草放牧地	筆	㎡			

3 権利を設定し、又は移転しようとする事由の詳細

(譲受人) 隣接する農地を譲り受け、経営規模拡大を 図りたい。	(譲渡人) 譲受人の要望による。
---------------------------------------	---------------------

4 契約の種類等

契約の種類	権利の設定・移転の時期	契約期間
贈与・ 売買 ・交換・賃貸借・使用貸借 ()	平成 年 月 日 許可後	平成 許 年 可 月 後 日から 平成 永 年 年 月 間 日まで

阿農委第 号

上記のとおり許可する。

平成 年 月 日

- 1 条件 別紙記載のとおり
- 2 注意事項 別紙記載のとおり
- 3 教示事項 別紙記載のとおり

阿賀町農業委員会 長

印

I 一般申請記載事項

1-1 権利を取得しようとする者又はその世帯員等が、現に所有し、又は使用収益権を有する農地及び採草放牧地の状況

○所有地

	農地面積 (㎡)			採草放牧地面積 (㎡)
	田	畑	樹園地	
自作地	①20,000	20,000		②
貸付地				

	所在・地番	地目		面積 (㎡)	
		登記簿	現況		
非耕作地					
	非耕作地面積計			㎡	

○使用収益権を有する土地 (借りている土地)

	農地面積 (㎡)			採草放牧地面積 (㎡)
	田	畑	樹園地	
自作地	③			④
貸付地				

	所在・地番	地目		面積 (㎡)	状況・理由
		登記簿	現況		
非耕作地					
	非耕作地面積計			㎡	

(記載要領)

- I 「自作地」及び「貸付地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されているものの面積を記載してください。
- II 「非耕作地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されていないものについて、筆ごとに面積等を記載するとともに、その状況・理由として、「～であることから条件不利地である」、「賃借人〇〇が〇年間耕作を放棄している」、「～のため〇年間休耕中である」等自らの耕作又は養畜の事業に供することができない旨を詳細に記載してください。



1-2 権利を取得しようとする者及びその世帯員等の機械の所有の状況、農作業に従事する者の数等の状況

(1) 作付（予定）作物、作物別の作付面積

	田		畑				樹園地		採草放牧地
	作付（予定）作物	面積 (㎡)							
作付（予定）作物	水稻								
権利取得後の面積 (㎡)	23,000								

(2) 大農機具又は家畜

数量	種類	トラクター (30 馬力)	耕運機 (30 馬力)	田植え機 (6 条植)	コンバイン (6 条刈)	()	()
		確保しているもの	所有	1台	1台	1台	1台
	リース						
導入予定のもの	所有						
	リース						
(資金繰りについて)							

(記載要領)

- I 「大農機具」とは、トラクター、耕運機、自走式の田植機、コンバイン等です。「家畜」とは、牛、豚、鶏等です。
 II 導入予定のものについては、自己資金、金融機関からの借入れ（融資を受けられることが確実なものに限る。）等資金繰りについても記載してください。

(3) 農作業に従事する者

①	権利を取得しようとする者の農作業経験等の状況	農作業歴	40年	農作業技術修学歴	年	(其他)	年
②	世帯員等その他常時雇用している労働力	現在	1人	農作業経験の状況	30年以上農作業経験（水稻）		
		増員予定	人	農作業経験の状況			
③	臨時雇用労働力(年間延人数)	現在	人	農作業経験の状況			
		増員予定	人	農作業経験の状況			
④	①～③の者の住所地、拠点となる場所等から権利を設定又は移転しようとする土地までの平均距離又は時間		平均距離	2 km	平均移動時間	10	時間

2 その法人の構成員等の状況（権利を取得しようとする者が農業生産法人である場合のみ記載。）

添付資料：農業生産法人としての事業等の状況(様式第1号の2)

3 信託の引受け該当有無（以下の該当するものに○を付してください。）

信託の引受けによる権利の取得

有	<input checked="" type="radio"/> 無
---	------------------------------------

4 権利を取得しようとする者又はその世帯員等のその行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況（権利を取得しようとする者が個人である場合のみ。）

その行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業へ常時従事している者	氏名	〇〇 〇〇	年齢	60	主たる職業	農業						
権利取得者との関係	本人											
農作業への従事状況（該当する期間（実績又は見込み）を「←→」で示してください。）												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
その行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業の期間				← 稲作			→					
その者が農作業に常時従事する期間				← 稲作			→					

（記載要領）

- I 「世帯員等」とは、住居及び生計を一にする親族並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の2親等内の親族をいいます。
- II 「農作業に常時従事する期間」とは、その期間、必要な農作業（耕うん、播種、施肥、刈取り等）にいつでも従事できる状態にあることをいいます。

5 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における経営面積の状況

(1)	権利取得後において耕作の事業に供する農地の面積の合計 （1-1の①+③+権利を取得しようとする農地の面積）	23,000㎡
(2)	権利取得後において耕作又は養畜の事業に供する採草放牧地の面積の合計 （1-1の②+④+権利を取得しようとする採草放牧地の面積）	㎡

6 転貸が認められる場合への該当有無（以下の該当するものに○を付してください。）

有	<input checked="" type="radio"/> 無
---	------------------------------------

7 周辺地域との関係

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼす影響について。

支障の有無 ⇒

有	<input checked="" type="radio"/> 無
---	------------------------------------

「有」の場合はその具体的な内容を記載してください。（例えば、集落営農や担い手への集積等の取組への支障、農薬の使用方法の違いによる耕作又は養畜の事業への支障等について記載してください。）